

タンゴの魅力

タンゴはリズムだ! 第3回

レコードで聴くアルゼンチンタンゴの神髄

タンゴは1900年代初頭に始まり、1950年代迄に多くの作曲・歌手・演奏に大きく発展を遂げました。ユネスコ文化遺産になり、その系統的発展の軌跡が認められました。今回は女性歌手と藤沢嵐子を集集しまし

たが、今回は表題の最終回としてタンゴがいちばん充実していた時期の名楽団の名曲名演を特集し、タンゴのリズムの意味を感じて頂けますよう企画しました。

- 1 小編成楽団の魅力に迫る
R・フィルポ四重奏団、
キンテートピリンチョ他 初期の楽団も
- 2 魂の音 バンドネオンの深い音色の不思議
名人級のソロを中心に
A・トロイロ、L・フェデリコ、小松亮太他
- 3 オルケスタ・ティピカ
スタカートの多彩な表現
J・ダリエンソ、O・プグリエーセ、R・ピアジ、
C・ディサルリ



タンゴの心は
リズムにある!!



オスワルド プグリエーセ



フランシスコ カナロ



オラシオ サルガン



ファン ダリエンソ



我孫子オーディオファンクラブ(AAFC)
分科会へのご案内 (会員による自主講座)

日時 / 2025年9月28日(日) 13:30~16:00

場所 / 久寺家近隣センター 多目的ホール・**入場無料**

https://www.city.abiko.chiba.jp/event/shisetsu/kinrin_shimin/kujike.html

発表者 / 前島 隆生

お問い合わせ / aafc.audio@gmail.com



ご都合の合う方は是非、お越しください。